

# 人材確保に関するアンケート 調査結果

調査期間	2019年4月9日～5月7日
調査対象	明石市内に事業所を持つ中小企業 506社
調査方法	調査票を郵送・回収
回答数	110社（回答率 21.7%）

## 人材確保に関するアンケート 調査結果について

明石市産業振興財団では、近年、企業にとって大きな経営課題になっている人手不足の現状を把握するため、4月に市内の中小企業約500社を対象に人材確保に関するアンケート調査を行いました。

このうち110社から回答があり、6割の企業が必要な正社員を採用できておらず、「残業の増加」や「新規事業の見合わせ」など経営に支障をもたらしていることもわかりました。今後の対策として、「中途採用の強化」や「女性の採用」などに取り組みたいという現場の実態が明らかになっています。

当財団では、今後、こうした課題に対応したセミナーの実施や相談・助言を進めていきます。

### 1 調査の概要

調査期間	2019年4月9日～5月7日
調査対象	明石市内に事業所を持つ中小企業506社
調査方法	調査票を郵送・回収
回答数	110社(回答率 21.7%)

#### 問1：業種

業種	合計	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業他
回答	110	42	16	11	10	31

#### 問2：従業員数（概数）

総数(名)	合計	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業他
1-5	12	2	1	2	1	6
6-20	49	12	11	6	7	13
21-50	22	10	2	1	2	7
51-100	13	8	2	2	0	1
101-200	7	5	0	0	0	2
201以上	4	4	0	0	0	0
無回答	3	1	0	0	0	2
合計	110	42	16	11	10	31

#### 内訳

	合計		製造業		建設業		卸売業		小売業		サービス業他	
正社員	27	25%	7	17%	8	50%	3	27%	3	30%	6	19%
非正社員	2	2%	1	2%	0	0%	0	0%	1	10%	0	0%
両方	81	74%	34	81%	8	50%	8	73%	6	60%	25	81%
合計	110		42		16		11		10		31	

## 2 調査の結果

### (1) 人材確保の状況

人材確保が必要な理由として、「従業員の高齢化」(70社)が最も多く、次いで「慢性的な人手不足」(50社)で、組織の新陳代謝や人手不足の解消が課題となっています。

一方、「新事業・新分野への展開」(32社)、「多様化する顧客ニーズ対応」(23社)など新規事業を展開するためのマンパワーの拡充も求められています。

問3：人材確保が必要な理由（複数可）

	項目	合計	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業他
1	多様化する顧客ニーズ対応	23	10	1	1	5	6
2	新事業・新分野への展開	32	13	1	5	2	11
3	慢性的な人手不足	50	16	10	3	2	19
4	従業員の高齢化	70	34	9	7	5	15
5	離職者・退職者の増加	20	12	2	1	0	5
6	育児・介護等に伴う休職者の増加	6	3	1	0	0	2
7	その他	8	2	2	1	2	1
	合計	209	90	26	18	16	59

### (2) 最近の採用状況

ここ数年の正社員の採用活動は「非常に苦戦」が35社、「やや苦戦」が30社で、6割の企業が必要な正社員を採用できていません。

一方、非正社員については、「苦戦」と回答した企業は4割、「採用の予定なし」が26社と、正社員ほど人材不足感は切迫していませんでした。

問4：ここ数年の採用は順調に行われていますか

正社員採用

項目	合計	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業他
非常に順調	3	1	1	0	0	1
まずまず順調	24	9	2	0	2	11
やや苦戦	30	14	3	4	2	7
非常に苦戦	35	15	10	1	1	8
採用の予定なし	16	3	0	5	5	3
合計	108	42	16	10	10	30

非正社員採用

項目	合計	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業他
非常に順調	1	1	0	0	0	0
まずまず順調	25	10	4	2	2	7
やや苦戦	18	8	1	1	2	6
非常に苦戦	23	11	3	4	1	4
採用の予定なし	26	6	6	2	3	9
合計	93	36	14	9	8	26

### (3) 人材不足による経営面の支障

人材不足によって、「残業の増加」(47社)、「新規事業開拓や事業拡大の見合わせ」(36社)、「新規受注の停止」(23社)など経営面で支障が生じています。

人材不足は、当面、残業の増加でカバーできても、新規事業の開拓や新規受注の手控えなどで事業拡大の足かせになっていると思われます。

問5：人材不足で経営にどのような支障が起きていますか（複数可）

	項目	合計	製造業		建設業		卸売業		小売業		サービス業他	
			現在	今後	現在	今後	現在	今後	現在	今後	現在	今後
1	既存事業の縮小・廃止	14	4	4	0	1	5					
2	納期遅れの発生	19	15	1	2	1	0					
3	新規受注の停止	23	7	6	1	1	8					
4	新規事業開拓や事業拡大の見合わせ	36	12	5	7	1	11					
5	残業の増加	47	24	4	4	4	11					
6	その他	19	5	3	1	2	8					
	合計	158	67	23	15	10	43					

### (4) 人材募集・採用の手段

企業は、現在、ハローワークをはじめ、多様な求人媒体や人材サービス会社、自社のホームページなどさまざまな募集手段を利用しています。

あわせて、今後利用したい手段もたずねましたが、現状と比べて大きな変化は見られず、現在利用できる手段はたいいてい利用していることがうかがえます。

問6：どのような募集・採用手段を利用していますか（現在実施しているもの、今後実施したいものそれぞれに複数可）

	項目	合計		製造業		建設業		卸売業		小売業		サービス業他	
		現在	今後	現在	今後	現在	今後	現在	今後	現在	今後	現在	今後
1	ハローワーク	75	40	35	14	12	3	5	4	3	3	20	16
2	ジョブカフェ等就職支援施設	1	3	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0
3	人材サービス会社(民間)	34	16	20	10	6	3	3	1	1	0	4	2
4	求人媒体(紙:新聞・雑誌等)	15	10	7	2	0	1	1	1	2	1	5	5
5	求人媒体(web:就職ポータル)	39	17	15	7	9	2	4	1	4	1	7	6
6	自社ホームページへの掲載	38	21	17	8	7	3	3	3	2	2	9	5
7	会社説明会の開催	15	4	10	3	2	1	2	0	0	0	1	0
8	親族・知人・友人の紹介	32	23	14	8	5	4	1	2	2	1	10	8
9	取引先からの紹介	13	8	5	4	1	1	0	0	2	0	5	3
10	大学・学校への訪問	20	14	12	9	3	1	1	1	0	0	4	3
11	募集・採用していない	12	10	3	1	2	1	1	2	2	2	4	4
12	その他	7	2	1	0	0	0	2	0	1	0	3	2
	合計	301	168	140	68	47	20	23	16	19	10	72	54

### (5) 今後採用を広げたい人材

今後、採用の対象にしていきたい人材は「女性」が54社と最も多く、ほぼ半数の企業が女性の活躍に期待しています。次いで「高齢者」18社、「障害者」15社で、「外国人」は12社でした。

問7：今後採用を広げたい人材（複数可）

対 象	合 計	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業他
女 性	54	22	6	8	5	13
高齢者	18	7	4	1	0	6
障害者	15	8	0	1	1	5
外国人	12	5	2	0	1	4

### (6) 人材不足への対応策

経営面での人材不足対策として、57社が「中途採用の強化」、41社が「ITや機械化による業務効率化」、37社が「給与・賞与の引上げ」と回答しています。

問8：人材不足による経営課題に対してどのような対策を行う予定ですか（複数可）

	項 目	合 計	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業他
1	ITや機械化による業務効率化	41	22	6	2	1	10
2	給与・賞与の引上げ	37	13	9	1	2	12
3	定年延長	27	9	4	2	2	10
4	従業員の仕事の兼務	35	15	7	4	1	8
5	新卒採用活動の強化	27	11	4	4	1	7
6	中途採用の強化	57	24	11	5	3	14
7	派遣社員の活用	13	8	1	1	0	3
8	業務の外注	34	17	6	3	3	5
9	生産拠点の海外移転	0	0	0	0	0	0
10	その他	5	3	0	1	1	0
	合 計	276	122	48	23	14	69

## (7) 今後の人材活用の方針

人材定着のため、「労働時間の縮減」(59社)、「作業負担の軽減」(39社)、「環境整備」(32社)と働きやすい職場づくりを進める一方、「社内の情報共有・コミュニケーションの向上」(49社)、「従業員の成果を評価する仕組みづくり」(46社)といった組織の活性化に取り組もうとする企業も多いです。

問9：人材定着のため、どのような点を重視し人材活用を進める予定ですか（複数可）

	項目	合計	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業他
1	従業員の成果を評価する仕組みづくり	46	17	9	6	0	14
2	わかりやすい昇進や給与体系の整備	36	9	11	5	1	10
3	労働時間の縮減など労働条件の改善	59	25	7	4	6	17
4	従業員の能力・適性に応じた作業負担の軽減	39	17	6	2	2	12
5	社内の情報共有・コミュニケーションの向上	49	22	6	5	2	14
6	働きやすい事務室の改善や工場の安全対策など環境整備	32	24	4	1	2	1
7	その他	5	1	1	2	1	0
	合計	266	115	44	25	14	68

## (8) 当財団に対する要望

財団が今後実施するセミナーや相談会について、「雇用に関する支援制度」(55社)や「効果的な人材採用の手法」(48社)、「女性の効果的な採用方法・事例」(29社)などをテーマとして希望する声が寄せられました。

問10：当財団の開催するセミナーや相談会で、特に希望するテーマ（複数可）

	項目	合計	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業他
1	雇用に関する補助金・助成金の支援制度	55	20	5	7	5	18
2	効果的な人材採用の手法	48	17	12	5	2	12
3	ホームページなど、自社の効果的なPR方法	11	4	1	1	1	4
4	女性の効果的な採用方法・事例	29	13	6	2	3	5
5	外国人労働者の新たな雇用制度の動向	12	4	2	0	1	5
6	定年後の継続雇用者の活用事例	14	6	2	1	1	4
7	その他	7	0	1	2	1	3
	合計	176	64	29	18	14	51

### 人材確保に関するアンケート

貴社名

回答者 所属

役職

氏名

電話番号 ( ) -

FAX番号 ( ) -

E-Mail

**貴社の概要についてお伺いします。**

1 次のうち、あてはまる業種に○をつけてください。

- ①製造業    ②建設業    ③卸売業    ④小売業    ⑤運輸、倉庫業    ⑥情報通信業
- ⑦金融業、保険業    ⑧不動産業    ⑨宿泊、飲食業    ⑩教育、学習支援業    ⑪医療、福祉
- ⑫その他 [ ]

2 従業員数をご記入ください。(概数で結構です。)

	当該事業所	全社
従業員数 総数	約( )名	約( )名
うち 正社員数	約( )名	約( )名
うち 非正社員(パート・契約社員等)数	約( )名	約( )名

**貴社における人材確保の状況についてお伺いします。**

3 人材確保が必要な理由をあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 多様化する顧客ニーズ対応
- 2. 新事業・新分野への展開
- 3. 慢性的な人手不足
- 4. 従業員の高齢化
- 5. 離職者・退職者の増加
- 6. 育児・介護等に伴う休職者の増加
- 7. その他 [ ]

4 ここ数年の採用は順調に行われていますか。正社員、非正社員それぞれについて○をつけてください。

	非常に順調	まずまず順調	やや苦戦	非常に苦戦	採用の予定なし
正社員	1	2	3	4	5
非正社員	1	2	3	4	5

5 人材不足で経営にどのような支障が起きていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 既存事業の縮小・廃止
- 2. 納期遅れの発生
- 3. 新規受注の停止
- 4. 新規事業開拓や事業拡大の見合わせ
- 5. 残業の増加
- 6. その他 [ ]

貴社名 \_\_\_\_\_

返信先(一財)明石市産業振興財団

**貴社における人材確保の対策についてお伺いします。**

- 6 どのような募集・採用手段を利用していますか。  
現在実施しているもの、今後実施したいもの、それぞれあてはまるものすべてに○をつけてください。

	現在実施	今後実施		現在実施	今後実施
1. ハローワーク			2. ジョブカフェ等就職支援施設		
3. 人材サービス会社(民間)			4. 求人媒体(紙:新聞・雑誌等)		
5. 求人媒体(web:就職サイト)			6. 自社ホームページへの掲載		
7. 会社説明会の開催			8. 親族・知人・友人の紹介		
9. 取引先からの紹介			10. 大学・学校への訪問		
11. 募集・採用していない					
12. その他(現在実施: _____)			(今後実施: _____)		

- 7 今後採用を広げたい人材として、あてはまるものすべてに○をつけ、その理由もお書きください。

採用対象	選択の理由
1. 女性	
2. 高齢者	
3. 障害者	
4. 外国人	

- 8 人材不足による経営課題に対してどのような対策を行う予定ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. ITや機械化による業務効率化	2. 給与・賞与の引上げ	3. 定年延長
4. 従業員の仕事の兼務	5. 新卒採用活動の強化	6. 中途採用の強化
7. 派遣社員の活用	8. 業務の外注	9. 生産拠点の海外移転
10. その他 ( _____ )		

- 9 人材定着のため、どのような点を重視し人材活用を進める予定ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 従業員の成果を評価する仕組みづくり	2. わかりやすい昇進や給与体系の整備
3. 労働時間の縮減など労働条件の改善	4. 従業員の能力・適性に応じた作業負担の軽減
5. 社内の情報共有・コミュニケーションの向上	6. 働きやすい事務室の改善や 工場の安全対策など環境整備
7. その他 ( _____ )	

- 10 当財団の開催するセミナーや相談会で、特に希望するテーマすべてに○をつけてください。

1. 雇用に関する補助金・助成金の支援制度	2. 効果的な人材採用の手法
3. ホームページなど、自社の効果的なPR方法	4. 女性の効果的な採用方法・事例
5. 外国人労働者の新たな雇用制度の動向	6. 定年後の継続雇用者の活用事例
7. その他 ( _____ )	

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。